



96i I/O™



著作権について

本書は、Avid Technology, Inc. のディビジョン・カンパニーである Digidesign (以下 Digidesign) の著作物であり、すべての権利が保有されています。本書のすべて、または一部を Digidesign の書面による許可なく複製することは法律で禁じられています。

DIGIDESIGN、AVID、および PRO TOOLS は、Digidesign および / または Avid Technology, Inc. の商法または登録商標です。文中に記載されているその他の製品名等は各社の登録商標です。

すべての機能および仕様に関しては、予告なく変更される場合があります。

Copyright ©2006 Digidesign, a division of Avid Technology, Inc.

PN 9106-18562-01 REV A 1/06

製品を安全にお使い頂く為の注意事項

ご使用になる前にお読みください

Diageoのハードウェア製品（コード及びインターフェース類を含むハードウェア全般）を、安全にご使用いただく為、以下の事項にご注意ください。此の「製品を安全にお使い頂く為の注意事項」は、本製品以外のDiageo製品全般にわたっての内容も記載されています。さらに様々な使用上の注意事項に関しては、各製品の取り扱い説明書にも記載されていますので、併せてご利用ください。

警告

この事項を無視して、誤った取り扱いを行なうと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



指定以外の電圧で使用しない

指定電圧は、ハードウェアによって異なる場合がありますので、事前に製品マニュアルをご覧になり、そこで指定されている電圧の範囲内で使用なさってください。間違った電圧で作業を行なうと火災、感電の原因となる場合があります。



放熱を行なう

製品のホールド穴は、放熱用の通風孔です。ふさがないようにご注意ください。通風孔が塞がれると内部が異常発熱となり火災の原因となります。



湿度の高い場所での使用厳禁

湿度の高い場所や水はねのある場所で使用すると、火災や感電の原因になりますので、行わないでください。



電源ケーブルの取り扱い

電源コードに無理な力や加熱等を加え傷つけないでください。電源コードが傷ついた場合は、火災、感電の原因となりますので使用なさらなくてください。



電源ケーブル接続にご注意

電源プラグをコンセントに接続する際は以下の事にご注意ください。
- 電源ケーブルの上に、機器本体またはその他の重いものを置かないでください。
- 食物等の下に電源ケーブルを置かないでください。
- 電源ケーブルを長時間で輻射しないようご注意ください。
- 足などを引っ掛ける恐れのある配線をしないうでください。
上記事項を行なうとケーブルが傷つきます。火災や感電の原因となります。



煙りや異音等の異常時

機器から煙りが出たり、変な臭いや異常な音が出る場合、ただちに機器の使用を中止してください。火災や感電の危険があります。これらの場合には、直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いた上で、安全をお確かめになり、修理をご依頼ください。



雷が鳴っている時

電源プラグに触れないでください。感電の危険があります。



機器の内部に異物や水を入れない

内部に水または異物が侵入した場合は、機器の使用を中止してください。火災や感電の危険があります。これらの場合には、直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いた上で、安全をお確かめになり、修理をご依頼ください。



落下及び破損した機器を使用しない

落としたりカバーやケースが壊れた機器を使用しないでください。火災や感電の危険があります。これらの場合には、直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いた上で、安全をお確かめになり、修理をご依頼ください。



ケース、カバーを開けたり、カード上のパーツを手を加えないでください。保証が無効となる為、内部には電圧の高い部品等も含まれる為、火災や感電の危険があります。修理に関しては、必ず弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

注意

この事項を無視して、誤った取り扱いを行なうと、人が損傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。



電源ケーブルは熱器具の近くにおかない

電源ケーブルをアイロンやストーブに近づけないでください。火災や感電の原因になることがあります。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた上や傾いた所等、不安定な場所には機器を設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。



湿気やほこりのある場所を避ける

湿気やほこりのある場所、加湿器のそば等、湿気やほこりの多い場所には機器を設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。



音量に気をつけてください

長時間に亘り音は、ソフトウェアまたはハードウェア上の設定可能な音量を使い、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出た場合、聴力障害の原因になる事があります。またヘッドフォンを使用する際は、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激する大きな音で長時間続けて聴いていると聴力障害の原因になることがあります。



指定以外のケーブルを使用しない

別途機器を接続するケーブルは製品の取り扱い説明書に記載されている指定のケーブルをご使用ください。また付属ケーブルは差込しないください。指定ケーブルではないケーブルや付随ケーブルの差込は、発熱並びにやけど等の原因になることがあります。指定ケーブルが不明の場合は、販売店または弊社カスタマーサポートまでご相談ください。



湿度の高い場所には設置しない

直射日光が当たる場所等、異常に湿度が高くなる場所に設置/設置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え、火災等の原因になることがあります。



長時間使用しない場合

長時間、機器を使用しない場合は、安全の為、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま長時間放置すると火災の原因になりことがあります。



お手入れ時には

お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに接続したまま作業を行なうと、感電の原因になることがあります。また、内部にはほこりがたまってきたまま長時間使用すると火災や感電の原因になることがありますのでご注意ください。



お子様やペットにご注意

お子様やペットが機器に近づいたり、おら下がりたりしないようご注意ください。傷れたり、壊れたりして、けがの原因になることがあります。感電の危険もあります。また、ペットの抜け毛等が機器内部に侵入すると故障の原因になりますのでご注意ください。



電源プラグの抜き差し時

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。また、電源プラグを抜く時は、プラグ部分を持って抜いてください。コード部分を引っ張ると、ケーブルが傷つきます。火災や感電の原因になることがあります。



電源プラグは清潔に

1年に1度程度、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。電源プラグにはこりがたまる、火災の原因になることがあります。



機器を移動させる場合

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の付属ケーブル（インターフェースケーブルやオーディオケーブル）をはずしてください。接続したまま移動すると、ケーブルが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

お客様、または第三者が、本製品並びにDiageoのその他の関連製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはそのシステム全体の使用によって受けられた損害に関しては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
また、本製品の故障、誤動作または不具合による、録音媒体（ディスクドライブ）等へ記録された内容の損害、及び録音/再生機及びデータバックアップを行なう際にお客様または第三者が製品利用の機会を失った為に生じた損害等、付随的損害の種類についても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

目次

第 1 章 : はじめに	1
パッケージの付属品	1
システム要件	1
ユーザー登録のお願い	2
本書について	2
www.digidesign.com について	3
第 2 章 : 96i I/O の概要	5
96i I/O のフロント・パネル	5
96i I/O のリア・パネル	7
Pro Tools HD システムへのインストールと基本設定の方法	9

第 1 章

はじめに

Digidesign 96i I/O は、16 チャンネル入力および 2 チャンネル出力のオーディオ・インターフェイスで、24 ビットの A/D および 24 ビットの D/A のコンバーターを備えています。

96i I/O では、最大 96 kHz のサンプル・レートがサポートされており、優れたダイナミック・レンジと低ノイズ・フロアを実現できます。96i I/O は、MIDI 音源モジュールやサンプラー、シンセサイザーなどの音源を Pro Tools HD システムに取り込むのに最適なオーディオ・インターフェイスです。

96i I/O の主な特徴

- 16 チャンネル×ディスクリート入力、および 2 チャンネル×出力を備え、各チャンネルに 4 段階 LED メーターを装備 I/O 機能は次のように構成されています。
 - 16 チャンネルの 24 ビット、96 kHz 対応アナログ入力（入力感度可変）
 - 2 チャンネルの 24 ビット、96 kHz 対応アナログ出力（基準信号レベル切換可）
 - 2 チャンネルの 24 ビット、96 kHz 対応デジタル入出力（S/PDIF RCA）
- ループ・シンク入出力
- 外部クロック入出力
- DigiLink 拡張ポート

パッケージの付属品

- 96i I/O
- AC 電源ケーブル
- DigiLink ケーブル：46 cm（1.5 フィート）
- BNC ケーブル：46 cm（1.5 フィート）

システム要件

96i I/O を使用するには、弊社で推奨している Pro Tools HD システムが必要です。

96i I/O は、Pro Tools HD システムの単独のオーディオ・インターフェイスとして使用（別のオーディオ・インターフェイスを併用しない）できるほか、192 I/O、192 Digital I/O、96 I/O、または 96i I/O と併用することもできます。

▲ 96i I/O をスタンドアローン・モードで使用することはできません（96i I/O を使用するには、Pro Tools HD システムが必要です）。

96i I/O には、LEGACY PERIPHERAL ポートは用意されていません。96i I/O の接続方法の詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。

互換性について

デジデザインでは、ハードウェアおよびソフトウェアについて、一定の基準で動作確認作業を行っており、動作確認がとれている製品に対してのみ互換性を保証し、サポートを提供しております。

コンピューターの OS やハードディスクを含め、サード・パーティ製品との互換性に関する最新情報については、弊社の Web サイトでご確認ください (www.Digidesign.co.jp/japan/compato)。

ユーザー登録のお願い

パッケージに同封のユーザー登録カードをご覧のうえ、ユーザー登録の手続きをオンラインで行なってください。弊社でテクニカル・サポートおよびアップデートを提供させていただくのは、正規登録ユーザーに制限させていただきます。新規ユーザーとしての大切な手続きですので、今すぐご登録ください。

本書について

本書では、96i I/O が備えている機能と装備されているコネクタについて説明します。


Pro Tools HD システムとの接続方法、および設定方法の詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を併せて参照してください。


凡例


本書では、メニュー・アイテムの選び方やマウスの操作方法を簡略化するために、次のような方法で表記しています。


表記法	操作法
[ファイル (File)] > [上書き保存 (Save)]	[ファイル] メニューから [上書き保存] コマンドを選ぶ
Control+N	Control キーを押しながら、N キーを押す
Control-クリック	Control キーを押しながら、マウスボタンをクリックする
右クリック (Windows)	Windows システムで、右側のマウスボタンをクリックする

文中のアイコン

 システムを使ううえで、ヒントになるようなポイントを紹介しています。

 システムの性能やデータに影響がある場合など、とくに注意すべき点を記載しています。

 コンピューターのキーボードやマウスを使ったショートカットを紹介しています。

 その他のユーザーズ・ガイドを含め、関連する章や節を記載しています。

www.digidesign.com について

弊社の Web サイト (www.digidesign.com) では、皆様に ProTools を最大限に活用していただけるよう、さまざまな情報を提供させていただいております。ご提供させていただいているサービスの一部を、ここでご紹介させていただきます。

ユーザー登録：お買い上げいただいた製品について、ユーザー登録の手続きをオンラインでいただけます。登録方法については、パッケージに同梱されているユーザー登録カードに記載されています。

サポート：弊社のテクニカル・サポートやカスタマー・サービスへのお問い合わせ、ソフトウェア・アップデートや最新版オンライン・マニュアルのダウンロード、システム要件や互換性情報の閲覧、Answerbase の検索、Pro Tools のユーザー・コンファレンスへの参加など、さまざまなサービスを提供しております。

トレーニング&エデュケーション：Pro Tools の認定オペレーターまたはエキスパートとしての資格を得る、オンラインで独学する、認定 Pro Tools トレーニング・センターに応募するといった方法について情報を提供しています。

製品のご案内およびデベロップメント・パートナーのご紹介：弊社製品のご案内をはじめ、デモ版ソフトウェアのダウンロード配布、デベロップメント・パートナーによるプラグイン、アプリケーション、およびハードウェアをご紹介します。

ニュースおよびイベント：Pro Tools の製品説明会やデモについての最新情報を提供しています。

このほかにも Pro Tools に関する情報が満載されておりますので、弊社 Web サイトに是非アクセスしてください (www.digidesign.com)。

第 2 章

96i I/O の概要

この章では、96i I/O のフロントとリアの両パネルに用意されている機能について説明します。

■ インストール方法と基本設定方法の詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。また、96i I/O を既存のシステムに追加する方法については、『拡張システム・ガイド』を併せて参照してください。

96i I/O のフロント・パネル

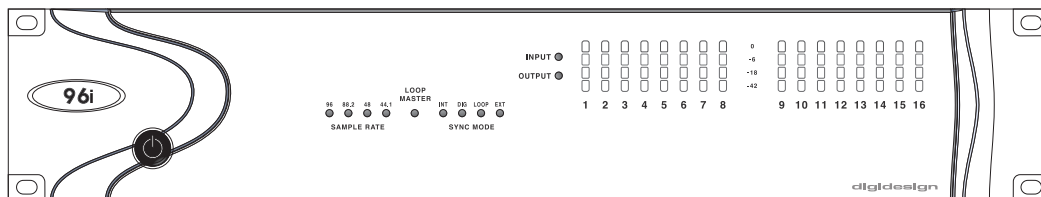


図 1 : 96i I/O のフロント・パネル

電源スイッチと LED リング

このスイッチでは、96i I/O の電源のオン / オフを切り換えます。

電源スイッチのまわりには環状の LED が用意されており、96i I/O が正しく起動し、接続している Pro Tools HD システムが起動している場合は、緑色に点灯します。この LED がオレンジ色に点灯した場合は、96i I/O に電源が入っていないが、96i I/O を接続しているコンピューターに電源が入っていないことを示します。

[SAMPLE RATE] LED

この LED には、Pro Tools のセッションで設定しているサンプル・レートが表示されます (44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、または 96 kHz)。Pro Tools のセッションのサンプル・レートを 176.4 kHz または 192 kHz に設定すると、96i I/O はオフラインに切り換わります。

[LOOP MASTER] LED

複数台の Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスを使用している場合、ループ・マスターとして作動しているオーディオ・インターフェイスの [LOOP MASTER] LED が点灯します。デフォルト

では、Pro Tools HD のプライマリー（コア）カードに最初に接続している Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスがループ・マスター・ペリフェラルとして設定されます。Pro Tools HD (PCIe) では、Accel Core カードがこれに相当します。また Pro Tools HD (PCI) では、HD Core カードがこれに相当します。

オーディオ・インターフェイスを 1 台だけ使用している Pro Tools HD システムでは、[LOOP MASTER] LED がつねに点灯します。

拡張システムでは、ループ・マスターとして機能するのは、いずれか 1 台の Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスにかぎられます。いずれかの Pro Tools HD オーディオ・インターフェイス、または SYNC I/O 上で、外部機器に対して出力しているクロック・ソースを変更した場合は、クロック・ソースを変更した Pro Tools HD ペリフェラル（オーディオ・インターフェイスまたは SYNC I/O）がループ・マスターに自動的に切り換わり、チェーン上のこれ以外の Pro Tools HD ペリフェラルがループ・スレーブ・モードで作動します。

[SYNC MODE] LED

[SYNC MODE] LED には、Pro Tools で設定しているクロック・ソースおよびシンク・モードが表示されます。表示方法には、次が用意されています。

INT（内部 / Internal）: 96i I/O が Pro Tools のクロック・マスターとして作動していることを示します。

DIG（Digital）: 96i I/O の S/PDIF ポートで受信している信号が Pro Tools のクロック・マスターとして作動していることを示します。

LOOP : 96i I/O がループ・スレーブ・モードで作動し、別のループ・マスター（Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスまたは Digidesign SYNC I/O、もしくは同等の機能を備えている機器）にシンクしていることを示します。この点について

は、5 ページの『[LOOP MASTER] LED』を併せて参照してください。

EXT（外部 / External）: 96i I/O の EXT. CLOCK IN ポートで受信している信号が Pro Tools のクロック・マスターとして作動していることを示します。

Pro Tools のクロック・オプションの詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。

[INPUT/OUTPUT] LED とメーター

16 チャンネルにはそれぞれ 4 段階の LED が用意されており、96i I/O の信号レベルを視覚的に確認できます。

この 4 段階は、- 42 dB、- 18 dB、- 6 dB、および 0 dB にそれぞれキャリブレートされています（フル・スケール・デジタル）。



フル・スケール・デジタル (0 dBFS) は、信号のクリッピング・レベルとは必ずしも一致しません。クリッピングについては、Pro Tools の画面のメーターで確認できません。詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。

メーターの左側には、[INPUT] と [OUTPUT] の 2 つの LED が用意されており、入力レベルと出力レベルのどちらがメーターに表示されているかを示します。デフォルトでは、[OUTPUT] LED が点灯し、入力レベルがメーターに表示されるように設定されています。[ハードウェア設定 (Hardware Setup)] ダイアログを使うと、入力レベルと出力レベルを切り換えることができます。

96i I/O のリア・パネル

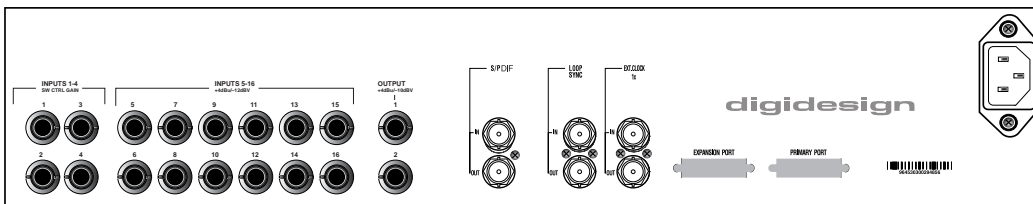


図 2 : 96i I/O のリア・パネル

アナログ入力 (INPUTS 1 ~ 4 および INPUTS 5 ~ 16)

96i I/O には、INPUTS1 ~ 16 の 16 基の 1/4 インチ TRS コネクタ (バランス接続) が用意されており、アナログ入力信号を接続できます。

- ◆ INPUTS1 ~ 4 では、6 段階の基準信号レベル (入力感度) をソフトウェアから切り換えることができます。選択肢には、- 12.0 dB (V) ~ +4.0 dBu の範囲で 6 段階が用意されており、デフォルトでは - 8 dB (V) に設定されています。
- ◆ INPUTS5 ~ 16 では、- 8***12 dBV / +4 dBu の基準信号レベル (入力感度) をソフトウェアから切り換えることができます。

96i I/O のアナログ入力ポートは、幅広いライン・レベルに対応しており、シンセサイザーやサンプラー、音源モジュール、エフェクト・プロセッサなどを接続できます。

すべてのアナログ入力ポートはバランス接続になっており、24 ビット、96 kHz の A/D コンバーターが用意され、+4 dBu の基準信号レベルで 14 dB のヘッドルームが設定されています (このヘッドルームは固定されており、キャリブレーションの必要はありません)。標準 1/4 インチのモノ・フォーン・プラグを使用することで、アンバランス接続も可能です。

96i I/O のアナログ入力コネクタのワイヤリング (バランス接続)

Tip	ホット (+)
Ring	コールド (-)
Sleeve	グラウンド

アナログ出力 (OUTPUT 1-2)

この 2 つのコネクタは、1/4 インチ TRS のバランス接続の仕様になっており、アナログ信号を出力できます。

この 2 つのアナログ出力には、24 ビットの D/A コンバーターがそれぞれ装備されています。出力の基準信号レベルについては、+4 dBu と - 10 dB (V) をソフトウェアで切り換えることができます。

96i I/O は工場出荷時に、+14 dB のヘッドルームをもたせてキャリブレートされており、+4 dBu の基準信号レベルでは、最大出力レベルが +18 dB となります。これに対して - 10 dB (V) の基準信号レベルでは、最大出力レベルが +4 dBV となります。

標準 1/4 インチのモノ・フォーン・プラグを使用することで、アンバランス接続も可能です。

96i I/O のアナログ出力コネクタのワイヤリング (バランス接続)

Tip	ホット (+)
Ring	コールド (-)
Sleeve	グラウンド

S/PDIF IN/OUT

RCA コネクタ (アンバランス接続) の仕様になっており、S/PDIF 方式のデジタル・データ・ストリームを入出力できます。S/PDIF 方式では、最大 24 ビットのオーディオ信号を最大 96 kHz のサンプル・レートでやり取りできます。S/PDIF 方式の入力については、[ハードウェア設定 (Hardware Setup)] ダイアログで、チャンネル1-2の入力源として選択できます。S/PDIF 方式の出力については、アナログ出力1-2にミラーリングされます。

デジタル・データを正確に維持し、ジッターを最小限に抑えるためにも、75 の同軸ケーブルを使用してください。

LOOP SYNC IN/OUT

複数台の Pro Tools HD ペリフェラルを併用する場合は、ループ・シンクというクロック信号をやり取りすることで、これらをシンクした状態で動作させることができます。LOOPSYNC IN/OUT ポートは標準 BNC コネクタの仕様になっており、“1 倍” のループ・シンク・クロック信号が入出力されます。このポートは、複数台の Pro Tools HD ペリフェラル (オーディオ・インターフェイスまたは SYNC I/O) を併用する場合だけに接続します。

ループ・シンクでは、44.1 kHz または 48 kHz のワード・クロック信号が“ベース”サンプルレートとして使用されます。セッションのサンプル・レートを高く設定しても、44.1 kHz または 48 kHz のベース・レートが使用され、たとえば 88.2 kHz のセッションでは 44.1 kHz、96 kHz のセッションでは 48 kHz のベース・レートがそれぞれ使用されます。

ループ・シンクの詳細、および要件となる接続方法については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。

EXT. CLOCK IN/OUT

EXT. CLOCK IN/OUT ポートは標準 BNC コネクタの仕様になっており、ワード・クロック信号が入出力されます。このポートを使うと、ワード・クロック信号を供給元と供給先でやり取りでき、96i I/O とシンクさせることができます。

EXT. CLOCK IN/OUT ポートについては、[ハードウェア設定 (Hardware Setup)] ダイアログで設定できます。



LOOP SYNC と EXT. CLOCK の両ポートでは、重要なタイミング・データがやり取りされるため、高品質の 75 の同軸ケーブルを使用してください。RG59またはそれ以上の品質のケーブルを使用することをお勧めします。

PRIMARY PORT

PRIMARY PORT では、96i I/O と Pro Tools HD カード、または 96i I/O と別の Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスを DigiLink ケーブルで接続します。

- 96i I/O を単独のオーディオ・インターフェイスとして使用する場合(別のオーディオ・インターフェイスを併用しない場合は、96i I/O の PRIMARY PORT と Accel Core カード(Pro Tools HD PCIe システム)または HD Core カード(Pro Tools HD PCI システム)を接続します。
- 96i I/O を別の Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスを併用する場合は、96i I/O の PRIMARY PORT と Accel Core カードまたは HD Core カードを接続するか、もしくは、192i I/O、192 Digital I/O、または 96 I/O の EXPANSION PORT と接続します。

EXPANSION PORT

EXPANSION PORT には、もう 1 台の Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスを 96i I/O に接続できます。接続には、DigiLink ケーブル（それぞれの Pro Tools HD オーディオ・インターフェイスに付属）を使い、もう 1 台の 96i I/O を接続すると、16 チャンネルの入力を増強できます。

AC 電源

このコネクターには、標準 AC 電源ケーブルを接続できます。96i I/O の電源は各国の電圧（100V ~ 240V）に応じて自動的に切り換わり、標準コンセントに接続して使用できます。

Pro Tools HD システムへのインストールと基本設定の方法

96i I/O を Pro Tools HD システムにインストールする方法、および基本設定方法の詳細については、『Pro Tools HD スタートアップ・ガイド』を参照してください。

数字

24 ビット 1

96 kHz 1

D

DigiLink

EXPANSION PORT 9

PRIMARY PORT 8

E

EXPANSION PORT

DigiLink 9

ポート 9

EXT. CLOCK

IN ポート 8

OUT ポート 8

L

[LOOP MASTER] LED 5

LOOP SYNC

IN/OUT 8

S

S/PDIF 8

[SAMPLE RATE] LED 5

ア

アンバランス接続

出力 8

入力 7

カ

クロック・ソース 6

サ

出力

S/PDIF (デジタル) 8

アナログ 7

ワード・クロック 8

シンク・モード 6

タ

電源スイッチと LED リング 5

ナ

入力

S/PDIF (デジタル) 8

アナログ 7

ワード・クロック 8

ハ

[ハードウェア設定] ダイアログ 6

バランス接続

入力 7

ベース・レート 8

マ

メーター 6

ヤ

ユーザー登録 2

ラ

ループ・マスター 5, 6

ワ

ワイヤリング

TRS バランス出力 8

TRS バランス入力 7

ワード・クロック 8



www.digidesign.com

DIGIDESIGN

〒107-0052

東京都港区赤坂2-10-7 ATT新館ビル 4F

アビッドテクノロジー株式会社内

製品情報

Tel: 03.3505.7963

Fax: 03.3505.3417

テクニカル・サポート

Tel: 03.3505.4762

(HD/VTDM: #30, LE: #31)

Fax: 03.3505.3417

カスタマー・サポート

Tel: 03.3505.4762 (# 22)

Fax: 03.3505.3417